

令和8年度 まちづくりふれあい懇談会

網走どこでもおでかけ 「どこバス」 について



網走市商工観光部

どこバス導入の経緯

《 路線バスの現状 》



利用者数の大幅な減少

人口減少や自家用車の普及により、
路線バスの利用者数は**30年間で**
約5分の1にまで減少…



利用時間帯の偏り

朝夕は通勤通学で一定の利用がある
一方で、**日中の利用が極めて少ない**
状況…

どこバス導入の経緯

《 路線バスの現状を踏まえた検討 》



利用の少ない日中の時間帯は、小型のバスでもよいのではないか？



利用者の要望に応じたバスの配車は可能か？

「街の規模に合った公共交通」への転換構想

網走バス(株)と市では、こうした状況を踏まえ、
令和2年度から実証実験を実施し、**令和5年度から本格運行**となりました。

どこバスの特徴



電話やLINEで予約

予約をすると、指定のバス停にバスが来ます。

＊LINE予約は事前登録が必要です。



時刻表・経路なし

決まった時刻表はなく、目的地まで最適な経路で効率的に運行します。



安価な料金設定

タクシーとは異なりバス停での乗り降りとなりますが、手軽な料金で利用可能です。



きめ細かなバス停設置

小回りの利く車両を使用しているため、通常の路線バスよりもバス停が多く便利です。

どこバスの運行体制



運行時間

午前9時～午後4時

※12月31日～1月3日は運休



運行エリア・車両

Aエリア：網走市街地

Bエリア：天都山・網走湖畔

稼働車両数：5台



ご利用料金

料金 (片道)	同一エリア内	エリアをまたぐ場合
一般	¥500 / 回	¥700 / 回
こども	¥250 / 回	¥350 / 回
障がい者	¥250 / 回	¥350 / 回

どこバスの運行体制

《回数券》

回数券	額 面	販売価格
65歳以上	¥4,000	¥3,000
アプリ利用	¥4,000	
65歳以上でアプリ利用	¥4,500	

《定期券》

定期券	販売価格
一般	¥6,000
アプリ利用	¥5,000
65歳以上	¥4,500
65歳以上でアプリ利用	¥4,000

どこバスの乗車方法



1. バス停番号を確認

地図で「乗るバス停」と「降りるバス停」の番号を確認します。



2. 「どこバス」を予約

① 電話で予約

- コールセンター: **0152-67-5611**
オペレーターに「乗る・降りるバス停」を伝える。
- 音声自動応答: **050-1807-1866**
ガイダンスに従いプッシュホン操作で予約。

② LINEで予約

- 事前にお友だち登録が必要です。
LINEで「乗る・降りるバス停」
が検索できます。



3. 指定のバス停へ

時刻が近くなったら指定のバス停でお待ちください。
バスが来たら予約番号または電話番号下4桁を伝えて乗車。



どこバスの利用状況

◆ 実証実験

● 令和2年度 (R2.8.1～11.30)

959人

● 令和3年度 (R3.6.1～R4.3.31)

7,083人

● 令和4年度 (R4.4.1～R5.3.31)

40,234人

◆ 本格運行 (R5.4.1～)

● 令和5年度

54,890人

● 令和6年度

63,606人

● 令和7年度

65,527人

どこバスの拡充（令和 8 年度～）

《 現状と課題 》

- どこバスの利用者数は年々増加し、観光客利用も増加傾向にある
- 利用者増加により、配車までの平均待ち時間が長くなっている
- 観光客の二次交通が課題

課題解決に向けて

令和 8 年度より導入した宿泊税を活用

⇒ どこバスを 2 台増車し、観光スポットへ運行エリア拡大

どこバスの拡充（令和8年度～）

◇ 導入時期 ※運行時間は9時～16時

令和8年10月1日予定（公共交通活性化協議会で承認済、運輸局へ申請中）

◇ 拡大エリア（バス停）

Cエリア 小清水原生花園、浜小清水駅

Dエリア 女満別空港、能取岬、サンゴ草群生地

◇ 料 金

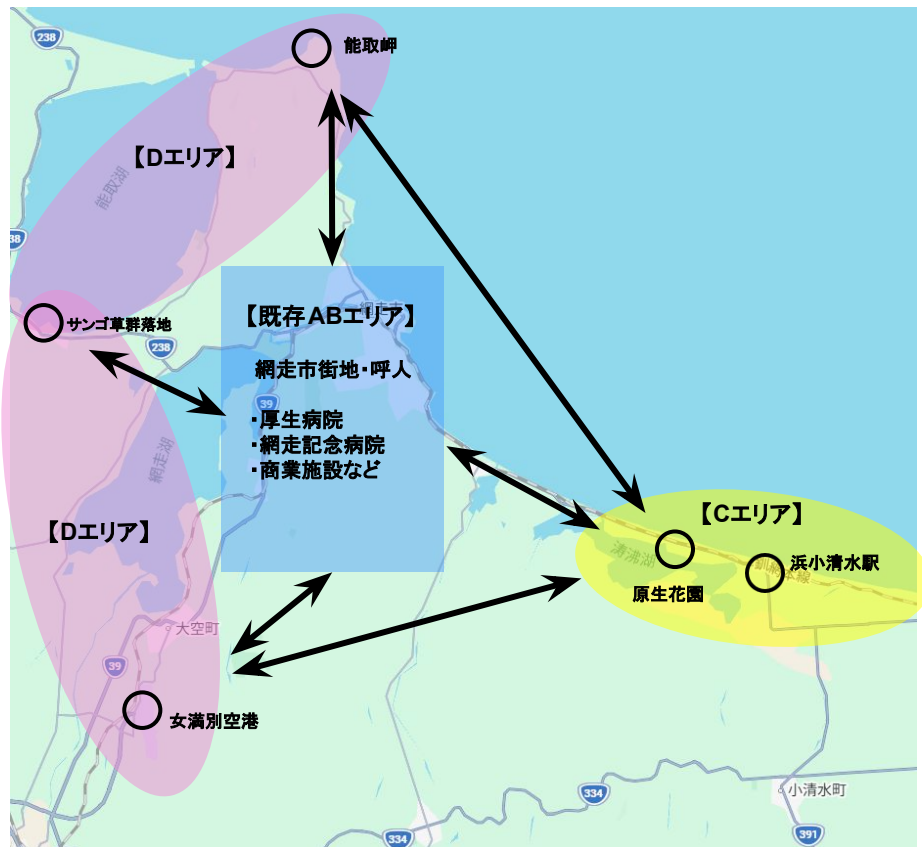
既存エリア(AB) ⇄ 拡大エリア(CD) : 3,000円

拡大エリア(C⇄D、D⇄D)内移動 : 3,000円 【※拡大エリア(C⇄C)移動は500円】

※拡大エリアには、増車した2台で対応

⇒ 観光閑散期などの利用が少ない時期は、市民の利便性向上が見込める

運行エリアのイメージ



- 1～5号車
ABエリアを運行



- 6～7号車
拡大エリア【CD】を運行
(オフピーク時はABエリアも運行)



※車両運用上、変更となる場合もあり